

第2回嬉野市教育委員会議（定例5月）

平成28年5月26日（木）13:00～

嬉野中学校校長室

1 開会

修学旅行等あっておりますが、子どもたちはいろいろな体験をし、強く、優しく、そして知識を増やすことができていると思います。熊本では、授業が再開されたようですが、普通のことができないところもまだあるようで、いつも当たり前のことが普通にでき、いろいろなことを吸収してほしいと思いながら、いろいろな行事を見せていただいております。

2 会議録署名委員 ○○委員 ○○委員

3 議題

(1) 報告

① 第3回市内中学校校長研修会より

(教育長) ・西部教育事務所より学校訪問、あいさつ運動指導参加があります。学力向上推進教員の役割や要請方法について説明しました。若い先生が増えてきておりますのでこういう部分を手厚くしております。県立中学、高校の入学者選抜実施日程です。高校については3月7日～8日で、卒業式が9日～10日となると、授業時数が少なくなりますので、1週間ずらしてもらおうよう要望をしていきます。研究指定校事業について、国立教育研究所に吉田小学校、吉田中学校のアクティブ・ラーニングの取組みを平成28年、29年の2カ年で申し入れをしております。市独自の取組みとしまして吉田小学校、吉田中学校の小中一貫推進研究事業がありますが、中間発表が吉田小学校で行われます。その他、TT非常勤講師配置事業、小・中学校学習状況調査に係る学校支援についての実施要項、サタデーセンター、教育実践論文募集、ICT利活用教育推進員、スポーツチャレンジ、優良PTA文部科学大臣表彰要項、全国高等学校総合文化祭佐賀大会について、中・高等学校英語教員及び小学校教員の英語力の強化について、交通事故発生（加害等）状況調べ、教職員課の学校訪問、加配活用状況、教科等担当時数報告、指導に課題がある教員の支援研修に関する要綱、教員採用選考試験、在外教育施設派遣教員推薦スケジュール、へき地学校勤務職員取扱要綱、主任制度に係る調査、新聞掲載記事、校長等管理職任用試験、西部教育事務所便りWEST、学校運営協議会の開催日程、外国語活動サー

クル「M.E.B.K」、人評価制度に係る校長の業績評価表について説明しました。その他、武雄税務署管内租税教育推進協議会による租税教育への取組みについてお話しております。

- (〇〇委員) ・指導に課題がある教員は嬉野市にいらっしゃいますか。
- (教育長) ・いません。そこに近い教員はいます。勤務評定はしておりますのでその都度、指導はお願いしております。
- (〇〇委員) ・指導力不足、新規採用職員の研修をしっかりとお願いしたい。
- (教育長) ・県立高校の入試が早くなっている事情があるのですか。
- (教育長) ・事情は分かりませんが、これ以上早くなると、春休みが長くなりすぎますので、事務所に申し入れをしております。
- (〇〇委員) ・学力向上推進教員はどの学校に配置されていますか。
- (事務局) ・県内に小学校5人、中学校5人で計10人配置されています。嬉野市では五町田小学校に週3日間きていただき先生方に指導してもらっています。
- (〇〇委員) ・西部地区に1名ということですが、支援校以外の市内の学校も行っていただけますか。
- (事務局) ・はい。要請があれば行っていただけます。
- (教育長) ・五町田小学校に来てくださっている先生は非常に前向きでいい先生です。
- (〇〇委員) ・是非、いい方法に活用し、起爆剤にしてほしい
- (〇〇委員) ・英語力向上研修は中学校の先生全員ですか。
- (教育長) ・中学校は英語の先生だけです。
- (〇〇委員) ・高校では英語のみで授業があり、ギャップを感じる生徒が多いようです。
- (教育長) ・平成30年度から中学校も英語のみの授業になります。小学校でも英語活動が始まりますし、高校での英語のレベルをあげるためには、中学校も上げなければならない。そのための研修です。

・学習状況調査について

- (事務局) ・4月19日に行われました県の学習状況調査について、結果が教育センターより配信されます。各学校においても結果を分析し、課題に対する解決策を組織的に取り組まれると思います。嬉野市内についてはいい傾向が続いております。特に小学校6年生は、昨年度以降高い水準で維持できています。以前は、成績上位7%が県立に進学し、小学校で高い水準であっても中学1年生で下がる傾向があったのですが、最近は小学校の力がそのまま中学校に伝わっています。先日の校長会で、いいところをたくさん見つけて、課題があれば組織として取り組んでくださいとお願いをしました。ただ、学校、学年、観点によって格差が大きいところがありますので、各

学校現状を受け止め、課題解決に向け、努力してほしいところです。8月に全国の結果が出ます。活用に関しては不十分なところもありますので、各学校しっかり取り組んでもらうようにしています。12月には、国語、算数、理科、社会、英語の県の学習状況調査がありますので、今回の反省をうけ、いろんな手だてをとり、12月に向け取り組んでほしいとお願いをしました。問題数によっては、結果の数値に極端な差がでる部分がありますが、数字におどらされないような見方をして、12月にはいい結果を見たいと思います。

- (〇〇委員) ・結果の差が大きいところは真剣に原因を探らないと次にはつながっていかないと思います。考察に、中学校は部活の指導も大切ですが、学習の支援にも力をいれるよう書いてあるのはよいことだと思います。各学校、結果に一喜一憂する必要はありませんが、結果の差が大きいところは何かあるのではないかと、そういう視点で取り組んでいただくようお願いします。
- (〇〇委員) ・学校側の教育だけでは限界があるのかなと思います。家庭での教育についても、調査し、把握する必要があるのではないのでしょうか。
- (〇〇委員) ・日々の授業が最も大事であり、勉強の楽しさや仕方等も学校の先生が教えていただきたいです。また、学力と食事や睡眠時間は相関関係があることを、時折話題にあげていただき、保護者も考えてもらえるような機会をもっていただきたいと思います。
- (〇〇委員) ・家庭と一緒に子どもの育ちを見ていかないといけませんね。結果のよくなかった学校でも、確実なよい取組みをされている先生や子どもがいますので、広めていただいたら学校全体が落ち着くと思います。学力向上に関しては数字だけではなく、学力をつけて世の中に出て行ってほしいということに話をしていることを忘れてはならないと思います。

② その他

・6月議会の日程について

- (事務局) ・6月3日から6月17日までの期間で開催されます。常任委員会が6、7日。一般質問が9、10、13日。議案質疑が14、15日です。

・社会教育年間計画等について

- (事務局) ・平成28文化財関係事業計画にあります事業のほか、4月25日に肥前窯業圏が日本遺産に選定されましたので、その取り組みについて今後報告してまいります。嬉野市図書館事業計画は資料のとおりです。
- ・嬉野市文化財保護審議会委員9名、嬉野市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員15名、図書館協議会委員9名の承認をお願いします。

- (全委員) ・嬉野市文化財保護審議会委員承認
- (全委員) ・嬉野市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員承認
- (全委員) ・図書館協議会委員承認
- (〇〇委員) ・大人のおはなし会とはどのような企画ですか。
- (事務局) ・内容が決まり次第報告します。
- (事務局) ・平成28年度嬉野市公民館運営審議会委員13名の承認をお願いします。
・5月29日古澤巖さんのヴァイオリンのコンサートがあります。ご両親が嬉野市出身です。コミュニティ助成事業「地域の芸術環境づくり助成事業」として、不知火太鼓×篠笛奏者佐藤和哉さんによるアウトリーチ・ワークショップが開催されます。6月25日、嬉野市文化講演会「秘めた力を探せ」を開催します。講師は佐賀工業高校ラグビー部総監督の小城博氏です。
- (全委員) ・嬉野市公民館運営審議会委員承認。

・不登校の状況について

- (〇〇委員) ・不登校は年間30日以上欠席ですが、今回の資料は4月分ですので30日以上は0人ですが、昨年度30日以上及び20日以上欠席者は、中学校で16名です。スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、教育相談員等を配置し、体制は整えておりますが、人任せにせず担当がしっかり関わるよう機会があるごとをお願いをしております。
- (〇〇委員) ・担任だけではなく、学校全体で把握し、多くの先生に接してもらうことがいい影響を与えられると思います。

・嬉野市内の児童生徒数の推移の見込み

- (事務局) ・児童生徒数の推移見込みです。小学校は、あと4～5年は220人前後で推移し、中学校は県立中、私立中に進学する生徒もいますので、現在の見込み数より減少します。学級数に関しても、急激に減ることはありませんが、減少傾向です。

・外国語活動サークル「MEBK」について

(2) 協議

・嬉野市内小中学校全職員研修会について《予定7月22日(金)》

- (教育長) ・教育の日に行っておりました全員研修会を7月22日に行わせていただきたいと思っております。内容は発達障害に係る研修です。一昨年からは、早期からの教育支援体制をとり、発達障害を見抜く力はついてきていますが、学

校によって温度差がありますし、インクルーシブ教育の推進のため、全職員に対し、発達障害の研修を計画したいと考えておりますが、いかがでしょうか。

- (〇〇委員) ・時期、内容についてはよいでしょうか。
- (〇〇委員) ・中体連は大丈夫ですか。
- (教育長) ・中体連地区大会が終わり、県大会の間になります。
- (〇〇委員) ・特別支援の先生は、数が少なく、孤立しがちなので、全職員で把握していくことは大切だと思います。
- (全委員) ・承認。

・嬉野市教育委員会評価委員について

- (教育長) ・外部評価委員として兵庫教育大学大学院准教授川上康彦さん。塩田地区から2名。嬉野地区から2名。それぞれ男女各1名です。就任年は川上先生が平成26年から、谷嶋さんが平成23年から、中野さんが教育委員会の立ち上げの平成21年から学校関係代表として、中島さんが27年から、杉光さんが平成26年度からです。以上5名の方を承認いただきましたら、個々に要請します。
- (全委員) ・承認します。お願いします。

(3) その他

次回教育委員会会議 7月1日(金) 10:00

4 閉会